

2025年度

シラバス(授業内容)

昼間部 2 年

観光総合科 観光ビジネスコース
トラベル・エアポート専攻
ホテル専攻

1. シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。

当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2. 科目編成（カリキュラム）の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

（１）共通科目：人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付けること科目構成です。

（２）専門科目：各各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2025年度 昼間部2年 観光総合科

進級・卒業基準単位

			1年		2年		卒業基準 単位
			前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目		20	22	20	18	80
	専門科目	トラベル専攻	8	8	10	10	36
		ホテル専攻	7	9	10	10	
合計		トラベル専攻	28	30	30	28	116
		ホテル専攻	27	31	30	28	

各期全単位を取得すること

履修科目・単位一覧 〈トラベル専攻〉

		1 年前期			種別	単位	時数	1 年後期			種別	単位	時数	2 年前期			種別	単位	時数	2 年後期			種別	単位	時数		
必修科目	共通科目	日本の観光資源研究Ⅰ	演	1	15									国際観光文化研究Ⅰ	演	2	30				日本の観光資源研究Ⅱ	演	2	30			
		観光業界研究	講	1	15																国際観光文化研究Ⅱ	演	2	30			
		チームワークビルディングⅠ	講・演	1	22	チームワークビルディングⅡ	演	1	15	チームワークビルディングⅢ	演	2	30	チームワークビルディングⅣ	演	2	30										
		日本文化研究	演	1	15	コミュニケーション力開発Ⅰ	演	1	15	ホテル旅館研究	講	2	30	コミュニケーション力開発Ⅱ	演	2	30										
		ホスピタリティマインドⅠ	講	1	15	ホスピタリティマインドⅡ	講	1	15	ホスピタリティマインドⅢ	講	2	30														
		ビジネスマナーⅠ	講	1	15	ビジネスマナーⅡ	講	1	15	ビジネスマナーⅢ	講	2	30														
		English For HospitalityⅠ	講	1	15	English For HospitalityⅡ	講	1	15	English For HospitalityⅢ	講	2	30	English For HospitalityⅣ	講	2	30										
		メンタルウェルネスⅠ	演	1	15	メンタルウェルネスⅡ	演	1	15																		
		PC スキルⅠ	演	1	15	PC スキルⅡ	演	1	15	PC スキルⅢ	演	2	30														
		マネジメントⅠ	講	1	15	マネジメントⅡ	講	1	15					フィジカルウェルネス	演	2	30										
		レクリエーションⅠ	演	1	15	レクリエーションⅡ	演	1	15					ユニバーサルサービス	演	2	30										
		聴解発音演習Ⅰ	演	2	30	聴解発音演習Ⅱ	演	2	30	聴解発音演習Ⅲ	演	2	30	聴解発音演習Ⅳ	演	2	30										
		日本語Ⅰ	講	2	30	日本語Ⅱ	講	2	30	日本語Ⅲ	講	2	30	日本語Ⅳ	講	2	30										
		マーケティングⅠ	講	1	15	マーケティングⅡ	講	1	15																		
		職業とキャリア	講	1	15	就職進路ガイドⅠ	講	2	37	就職進路ガイドⅡ	講	2	30														
		日本文化Ⅰ	講	1	15	日本文化Ⅱ	講	1	15																		
		母国文化研究Ⅰ	演	1	15	母国文化研究Ⅱ	演	1	22																		
		サービス業概論Ⅰ	講	1	15	サービス業概論Ⅱ	講	1	15																		
		サービス業研究																									
	小計			20	307	小計			22	344	小計			20	300	小計			18	270							
	専門科目	観光地理Ⅰ	講	2	30	観光地理Ⅱ	講	1	15	海外地理Ⅰ	講	2	30	海外地理Ⅱ	講	2	30										
		日本の宿泊業	講	1	15	業法・約款Ⅰ	講	1	15	業法・約款Ⅱ	講	2	30														
		国内運賃Ⅰ	講	1	15	国内運賃Ⅱ	講	1	15	アマデウスⅠ	演	2	30	アマデウスⅡ	演	2	30										
		国際旅行実務Ⅰ	講	1	15	国際旅行実務Ⅱ	講	1	15	ツアープランニング		2	30	空港旅客サービス	講	2	30										
		エアポート入門	講	1	15	エアポート実務	講	1	15	添乗業務実務Ⅰ	講	2	30	添乗業務実務Ⅱ	講	2	30										
		旅行総論Ⅰ	演	1	15	旅行総論Ⅱ	演	1	15					F&B オペレーション	演	2	30										
		観光歴史Ⅰ	講	1	15	観光歴史Ⅱ	講	1	15																		
		空港・ホテル研究(ホテル視察・空港視察)																									
	小計			8	120	小計			8	120	小計			10	150	小計			10	150							
合計	1 年前期合計			28	427	1 年後期合計			30	464	2 年前期合計			30	450	2 年後期合計			28	420							
	1 年次 合計単位								58	891	2 年次 合計単位								58	870							
	2 年間 合計単位数																						116	1761			

履修科目・単位一覧 〈ホテル専攻〉

		1 年前期			種別	単位	時間数	1 年後期			種別	単位	時間数	2 年前期			種別	単位	時間数	2 年後期			種別	単位	時間数
必修科目	共通科目	日本の観光資源研究Ⅰ	演	1	15															日本の観光資源研究Ⅱ	演	2	30		
		観光業界研究	講	1	15									国際観光文化研究Ⅰ	演	2	30			国際観光文化研究Ⅱ	演	2	30		
		チームワークビルディングⅠ	講・演	1	22	チームワークビルディングⅡ	演	1	15	チームワークビルディングⅢ	演	2	30	チームワークビルディングⅣ	演	2	30								
		日本文化研究	演	1	15	コミュニケーション力開発Ⅰ	演	1	15	ホテル旅館研究	講	2	30	コミュニケーション力開発Ⅱ	演	2	30								
		ホスピタリティマインドⅠ	講	1	15	ホスピタリティマインドⅡ	講	1	15	ホスピタリティマインドⅢ	講	2	30												
		ビジネスマナーⅠ	講	1	15	ビジネスマナーⅡ	講	1	15	ビジネスマナーⅢ	講	2	30												
		English For HospitalityⅠ	講	1	15	English For HospitalityⅡ	講	1	15	English For HospitalityⅢ	講	2	30	English For HospitalityⅣ	講	2	30								
		メンタルウェルネスⅠ	演	1	15	メンタルウェルネスⅡ	演	1	15																
		PC スキルⅠ	演	1	15	PC スキルⅡ	演	1	15	PC スキルⅢ	演	2	30												
		マネジメントⅠ	講	1	15	マネジメントⅡ	講	1	15					フィジカルウェルネス	演	2	30								
		レクリエーションⅠ	演	1	15	レクリエーションⅡ	演	1	15					ユニバーサルサービス	演	2	30								
		聴解発音演習Ⅰ	演	2	30	聴解発音演習Ⅱ	演	2	30	聴解発音演習Ⅲ	演	2	30	聴解発音演習Ⅳ	演	2	30								
		日本語Ⅰ	講	2	30	日本語Ⅱ	講	2	30	日本語Ⅲ	講	2	30	日本語Ⅳ	講	2	30								
		マーケティングⅠ	講	1	15	マーケティングⅡ	講	1	15																
		職業とキャリア	講	1	15	就職進路ガイドⅠ	講	2	37	就職進路ガイドⅡ	講	2	30												
		日本文化Ⅰ	講	1	15	日本文化Ⅱ	講	1	15																
		母国文化研究Ⅰ	演	1	15	母国文化研究Ⅱ	演	1	22																
		サービス業概論Ⅰ	講	1	15	サービス業概論Ⅱ	講	1	15																
		サービス業研究																							
	小計			20	307	小計			22	344	小計			20	300	小計			18	270					
専攻科目	ホテル・観光	ホテル総論Ⅰ	講	1	15	ホテル総論Ⅱ	講	1	15	飲料講座Ⅰ	演	2	30	飲料講座Ⅱ	演	2	30								
						業界人育成講座Ⅰ	演	1	15	業界人育成講座Ⅱ	演	2	30												
		料理解説Ⅰ	講	1	15	料理解説Ⅱ	講	1	15	料理解説Ⅲ	講	2	30												
		F&B オペレーションⅠ	演	2	30	F&B オペレーションⅡ	演	2	30	F&B オペレーションⅢ	演	2	30												
		ホテル・サービス実務Ⅰ	講	1	15	ホテル・サービス実務Ⅱ	講	1	15	ホテル・サービス実務Ⅲ	講	2	30	観光ビジネス理解	講	2	30								
		ホテル・旅館研究Ⅰ	講	1	15	ホテル・旅館研究Ⅱ	講	1	15				パンケット実務	講	2	30									
		空港・ホテル研究(ホテル視察・空港視察)					演	1	15				観光歴史	講	2	30									
		観光業解説Ⅰ	講	1	15	観光業解説Ⅱ	講	1	15				国際旅行実務	講	2	30									
小計			7	105	小計			9	135	小計			10	150	小計			10	150						
1 年前期合計		27	412	1 年後期合計		31	479	2 年前期合計		30	450	2 年後期合計		28	420										
1 年次 合計単位						58	891	2 年次 合計単位						58	870										
2 年間 合計単位数																					116	1761			

共通科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国際観光文化研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	講師名：職員				
	実務経験 ： 有 ・ 無	実務経験内容：			
授業概要	2 年間の集大成として、学習した内容をもとに自身で深めたい課題を見つけ、その研究と発表を行います。				
到達目標	パワーポイントを使用し、研究内容のプレゼンテーションを行う。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	無				
授業計画	1 卒業研究について		1 プレゼン準備		
	2 文章の作り方		2 プレゼン準備		
	3 テーマ決め		3 プレゼン準備		
	4 文章の作成		4 ゼミ内プレゼン		
	5 文章の作成		5 ゼミ内プレゼン		
	6 文章の作成		6 ゼミ内プレゼン		
	7 文章の作成		7 ゼミ内プレゼン		
	8 文章の作成		8 ゼミ内プレゼン		
	9 パワーポイントの作成		9 ゼミ内プレゼン		
	10 パワーポイントの作成		10 ゼミ内プレゼン		
	11 パワーポイントの作成		11 ゼミ内プレゼン		
	12 パワーポイントの作成		12 ゼミ内プレゼン		
	13 パワーポイントの作成		13 ゼミ内プレゼン		
	14 パワーポイントの作成		14 ゼミ内プレゼン		
	15 パワーポイントの作成		15 ゼミ内プレゼン		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	チームワークビルディングⅢ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	講師名：観光総合科担任				
	実務経験 ： 有 ・ 無	実務経験内容：			
授業概要	目標を達成するためチームメンバーで協働する力を鍛えます。				
到達目標	・学生と社会人の違いを理解し、社会人としての心構えを身につける。 ・グループディスカッションのロジック（論理）とテクニック（手法）を習得する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材					
授業計画	1 日本で働く上での日本語接客用語の概要説明		1 ビジネスメールのやり方		
	2 日本で働く上での日本語接客用語の概要説明		2 ビジネスメールのやり方		
	3 日本で働く上での日本語接客用語の概要説明		3 ビジネスメールのやり方		
	4 日本で働く上での日本語接客用語の概要説明		4 ビジネスメールのやり方		
	5 日本で働く上での日本語接客用語の概要説明		5 食事に関するマナー		
	6 飲食・宿泊施設での日本語接客用語を読解発声		6 食事に関するマナー		
	7 飲食・宿泊施設での日本語接客用語を読解発声		7 食事に関するマナー		
	8 飲食・宿泊施設での日本語接客用語を読解発声		8 食事に関するマナー		
	9 飲食・宿泊施設での日本語接客用語を読解発声		9 サービスプロフェッショナルへの近道		
	10 飲食・宿泊施設での日本語接客用語を読解発声		10 サービスプロフェッショナルへの近道		
	11 電話応対時の日本語接客用語を読解・発声		11 サービスプロフェッショナルへの近道		
	12 電話応対時の日本語接客用語を読解・発声		12 サービスプロフェッショナルへの近道		
	13 電話応対時の日本語接客用語を読解・発声		13 プライオリティーが必要なお客様への対応		
	14 電話応対時の日本語接客用語を読解・発声		14 プライオリティーが必要なお客様への対応		
	15 電話応対時の日本語接客用語を読解・発声		15 プライオリティーが必要なお客様への対応		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ホテル旅館研究			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：観光総合科担任				
	実務経験 ： 有 ・ 無	実務経験内容：			
授業概要	2 年生としての就職に向けた企業研究を実施。求人票やホームページなどから企業情報を読み解く。将来の就職先としてまた、今後の幅広い知識として習得。				
到達目標	日本のホテル・旅館を理解し、今後就職活動の行動意欲を高める。				
検定資格	☑し ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	専用パワーポイント及び配布資料				
授業計画	1 ホテル求人票の見方や注意点				
	2 ホテル求人票の見方や注意点				
	3 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	4 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	5 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	6 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	7 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	8 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	9 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	10 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	11 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	12 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	13 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	14 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
	15 求人票から企業のコンセプトや採用条件、募集資格、福利厚生や給料など情報を研究				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ホスピタリティマインドⅢ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：井部有美子				
	実務経験 ： ☒ ・ 無	実務経験内容：国内航空会社に GS として勤務し主に接客業務に従事			
授業概要	豊かな人間関係構築のために、ホスピタリティマインドの必要性、知識を学びます。 相手を受け入れ理解し、相手の立場に立って行動するためには、まず、自分自身を正しく知ることが大切です。さまざまなカリキュラムにより自己理解を深め、自己改善を図ることで「なりたい自分」に近づくこと、さらに相手を慮り、自らホスピタリティを発揮することができる人材の育成を目指します。				
到達目標	相手を理解、共感し、深いコミュニケーションを図れること 社会人として、前向きなマインドを持ち成長していける人材の育成				
検定資格	☒ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	なし				
授業計画	1 未来をデザインする ホスピタリティ産業への挑戦（企業研究）				
	2 未来をデザインする ホスピタリティ産業への挑戦（企業研究）				
	3 未来をデザインする ホスピタリティ産業への挑戦（企業研究）				
	4 発見と未来を語る－プレゼンテーション・チャレンジ				
	5 発見と未来を語る－プレゼンテーション・チャレンジ				
	6 DVD 鑑賞 （おもてなしの心）				
	7 ホスピタリティマインドを持った人生態度を確立しよう				
	8 ホスピタリティマインドを持った人生態度を確立しよう				
	9 ホスピタリティマインドのある聴き方				
	10 ホスピタリティマインドのある聴き方				
	11 さわやかに自己表現しよう（アサーション）				
	12 企業の場合でのアサーション				
	13 顧客対応力の向上（クレームに対応する）				
	14 顧客対応力の向上（クレームに対応する）				
	15 未来のホスピタリティ業界に向けたビジョンの発表				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験80％以上、出席率80％以上、平常点 優 B：評価試験60％以上、出席率70％以上、平常点 良 C：評価試験40％以上、出席率50％以上、平常点 可 D：評価試験40％未満、出席率50％未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスマナーⅢ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	対面
実施期	2 年生 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：高橋 清美				
	実務経験： 有 ・ 無	実務経験内容：講師歴 10 年・元テレビ静岡アナウンサー			
授業概要	就職活動の為プラス、話す時のしぐさ、内容の組み立てを学ぶ。日本年中行事。				
到達目標	就職はもちろん、人としてマナーや日本の文化習慣を深める				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	オリジナルプリント				
授業計画	1、何故か日本にやってきたのか？明確なトーク。服装など身だしなみ再確認。				
	2、どの様なアルバイトをしそこからの学びとは。気をつける点について語り合う。				
	3、笑顔のフェイスストレッチ				
	4、話す時のスピード。美しい日本語のポイント。				
	5、きどにたてかけし衣食住、話のテーマの見つけ方				
	6、食事のマナー 3 0 （日本食編）				
	7、ストレス対策、自分をご機嫌にするには。				
	8、オンラインで伝えるとは、その対策方法				
	9、日本での困りごと、原因と対策。良かったと感じたこと。				
	10、私の大切なアイテムを語る。				
	11、発声練習。仕組みとトレーニング。のどのケア。				
	12、影響を受けた本。好きな言葉について発表。				
	13、しぐさを身につけて感じの良い人へ、江戸しぐさなど。				
	14、話し方は「間」が大事。ハリセンを作る。バナナの魅力。				
	15、なりたい自分になる。大事な「握手」の仕方。				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	English for Hospitality III・IV			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 : 2 単位 後期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	講師名:各担当講師 Level Basic1・2、Middle、 Advance 1・2				
	実務経験 : 有 ・ 無	実務経験内容:			
授業概要	この授業では、旅行やホテルの現場で 使用する英語を学びます。 語句やフレーズ、基礎の文法、短い英作文、聴解、発音、会話など、幅広く 学習します。				
到達目標	平易な表現であれば、書くことができ、口頭で 伝えることが できる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	English for Hospitality				
授業計画	Sel f Introduction Tour Guide English Hotel English Airport English Tourist English Polite Expressions / Bell Person / Front Desk / Restaurant House Keeping / Words and Phrases for Tourism / Problems and Complaints 				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	PC スキルⅢ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義・実習
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：荒岡 拓弥				
	実務経験 ： 有	実務経験内容：エコノミストとして経済分析に Excel、論文に Word、講演に PPT を実務経験。			
授業概要	最初の半月は、ホスピタリティ・マインドとの連携授業とし、パワーポイントスライド作成実習に取り組み、その後、卒業研究準備のための Word 文書作成スキルの確認、パワーポイントスライドの高度な活用実習、さらに進んでプレゼンテーション実習を行う。その後、企業事務に必要な Excel の基本的な操作から、比較的高度な関数の活用まで実習する。				
到達目標	日本情報処理検定（プレゼンテーションおよび表計算）3 級レベル				
検定資格	任意 名称：日本情報処理検定協会（プレゼンテーション作成検定、表計算検定）				
教科書教材	オリジナル教材のコピーを配布				
授業計画	1 ホスピタリティ・マインドとの連携授業（企業研究とパワーポイントスライド作成実習）				
	2 ホスピタリティ・マインドとの連携授業（企業研究とパワーポイントスライド作成実習）				
	3 卒業研究に向けた Word 復習				
	4 卒業研究に向けたパワーポイント作成復習（表、グラフ、写真の挿入など）				
	5 卒業研究に向けたスライド作成復習（音楽/動画ファイルの挿入、ハイパーリンクの利用など）				
	6 テーマ・スライド（自分の故郷 or お奨め観光スポット）作成				
	7 テーマ・スライド作成、プレゼンテーション実習				
	8 プレゼンテーション実習				
	9 Excel 入力基本操作（数値入力、文字入力、セルのコピー、移動など）				
	10 加減乗除計算、連続データの入力、票の書式設定など				
	11 関数と表の作成（SUM 関数、AVERAGE、MAX、MIN 関数）				
	12 絶対参照と表の作成（割合の計算、表のコピーとデータの追加・更新操作など）				
	13 フィルターの活用（並べ替え、データ抽出など）				
	14 いろいろなグラフの作成と活用				
	15 いろいろな関数の活用（RANK 関数、IF 関数、VLOOK 関数、プルダウンなど）				
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点可 D：出席率 50%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	聴解発音演習Ⅲ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	講師名：各担当講師				
	実務経験 ：	有 無	実務経験内容：日本語学校での教務経験		
授業概要	社会人として明瞭な日本語が話せるよう発音・発声を強化します。発音を中心に会話力・聴解力も鍛えます。				
到達目標	完璧を目指すのではなく、聞き手にとって聞き取りやすい、ストレスを感じさせない発音を目指す				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	各講師がクラスのレベルに合わせて、その都度プリントを配布				
授業計画	【前期】 ・ 発音の強化 1 年次に引き続き日本語の音・アクセント・イントネーションなどを矯正します。 ・ 敬語で発音を鍛える 敬語を使ったダイアログなどを題材に、シャドーイングや音読をすることで、発音を鍛えると同時に敬語の感覚を体に覚えさせます。 【後期】 ・ シーン別で発音を鍛える 社会生活における様々なシーンを題材に、ロールプレイなどでアウトプットを行うことによって、発音を鍛えるだけでなく自然な日本語も身に付けます。 ・ リズムで発音を鍛える 日本語の詩や歌などを題材に発音を強化し、日本語のリズムも身に付けます。				
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。評価試験・出席状況・授業参加意欲で総合評価を判断する。 評価試験を欠席した場合は 0 点として取り扱う。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	日本語Ⅲ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	講師名：各担当講師				
	実務経験 ：	有 無	実務経験内容：日本語学校での教務経験		
授業概要	社会で役立つ日本語力を強化します。正確な情報を収集するための読解力と自分を表現するための書く力を鍛えます。				
到達目標	社会人としてレポート・資料作成時に、自分の発想・意図を正確に伝えられる文章力。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	各講師がクラスのレベルに合わせて、その都度プリントを配布				
授業計画	【前期】 ・ 情報収集能力の強化 社会生活で触れる様々なパターンの文章を多読することで、読解力を上げ、正確に情報収集できる能力を身に付けます。 ・ 作文能力の強化 1 年次に引き続き基礎的な文法事項を強化し、読み手に正確に伝わる文章を書けるように指導します。 【後期】 ・ 表記 留学生向けの漢字教材から漢字を学ぶだけでなく、社会人として役立つ漢字語彙力を強化し、正確で読みやすい字が書けるように指導します。 ・ 語彙/表現 ニュースなどの素材から語彙や慣用表現などを学び、より自然で伝わりやすい日本語を身に付けます。				
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。評価試験・出席状況・授業参加意欲で総合評価を判断する。 評価試験を欠席した場合は 0 点として取り扱う。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	就職進路ガイドⅡ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：観光総合科担任				
	実務経験 ： 有 ・ 無	実務経験内容：			
授業概要	就職活動は「内定」という目標を向かって、面接練習と内定後のアドバイスを行う				
到達目標	留学生たちが日本で就職内定を勝ち取る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	オリジナル教材・就職に必要な資料				
授業計画	1 就職活動のルール				
	2 自己紹介				
	3 面接練習				
	4 グループディスカッション（内定がもらえる学生とは？）				
	5 グループディスカッション				
	6 面接練習				
	7 面接練習				
	8 グループディスカッション				
	9 グループディスカッション				
	10 面接練習				
	11 面接練習				
	12 面接練習				
	13 面接練習				
	14 面接練習				
	15 在留資格申請				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	日本の観光資源研究Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	講師名：観光総合科担任				
	実務経験 ： 有 ・ 無	実務経験内容：			
授業概要	日本の観光地を訪れ、日本のホテル・旅館に宿泊し、2 年間の講義だけでは得られない体験をさせ、日本のおもてなしなどを深く学ばせる。				
到達目標	学園で 2 年間学んできた知識と観光体験を紐づけ、観光への理解をさらに深める。				
検定資格	☑し ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材					
授業計画	【後期】 ・ 事前に観光予定地の勉強をする。 ・ 観光地での旅程を作成する。 ・ 実際に観光地に訪れ、講義では得られない体験する。				
成績評価 方法	参加姿勢と出席状況で判断する。				
成績評価 基準	A：出席率 90%以上、平常点、レポート 優 B：出席率 80%以上、平常点、レポート 良 C：出席率 60%以上、平常点、レポート 可 D：出席率 60%未満、平常点、レポート 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	コミュニケーション力開発Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	講師名：岸田輝美				
	実務経験：⑦・無	実務経験内容：電話応対・マナー・コミュニケーション講師実務経験あり。現在は、研修会社取締役。			
授業概要	分の考えをきちんと伝える話し方、相手を思いやる話し方、感じの良い話し方を習得していきます。 1対1の会話、1対多数の会話など、コミュニケーションの3要素の何を・誰が・どう伝えるかを習得していきます。				
到達目標	コミュニケーションの基本「話すこと、聴くこと」を理解する				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材					
授業計画	1 コミュニケーションツールを学ぶ				
	2 電子メールの特徴を学ぶ				
	3 手紙を書く①				
	4 手紙を書く②				
	5 ビジネスでの電話に対応する（知識）				
	6 ビジネスでの電話に対応する（台本を作る）				
	7 ビジネスでの電話に対応する（実技）				
	8 ビジネスでの電話に対応する（実技）				
	9 前向きな声がけで信頼関係を築く①				
	10 前向きな声がけで信頼関係を築く②				
	11 前向きな声がけで信頼関係を築く③				
	12 コミュニケーションカードで自分と向き合う①				
	13 コミュニケーションカードで自分と向き合う②				
	14 アサーティブコミュニケーション 相手も自分も大切に				
	15 アサーティブコミュニケーション スキルを学び実技に挑戦				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 39%以下、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	フィジカルウェルネス			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義、実技
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	講師名：北原 大輔				
	実務経験 ：有 ・ 無	実務経験内容：スポーツインストラクターとして実務経験有り			
授業概要	健康維持のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。また、コーディネーショントレーニングの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者との協働する力を鍛えます。				
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動、スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	なし、必要によりプリント用意				
授業計画	1 自己紹介、授業説明				
	2 体力測定				
	3 体力測定 2				
	4 コーディネーショントレーニング				
	5 バランストレーニング				
	6 心拍数、運動強度講習				
	7 ウォーキング				
	8 ランニング				
	9 筋トレ（上半身）				
	10 筋トレ（下半身）				
	11 体幹トレーニング				
	12 キックボクササイズ				
	13 キックボクササイズ 2				
	14 測定テスト				
	15 測定テスト 2				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点 良 C：評価試験 30 点以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30 点未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ユニバーサルサービス			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	講師名：古宮 綾佳				
	実務経験 ： 有 ・ 無	実務経験内容：旅行会社の成田空港カウンター業務を経験。			
授業概要	観光業界で就職するに当たり老若男女すべての方に適切なサービスをするために、高齢者の方や体の不自由な方に対しての知識とお手伝いの仕方を勉強する。				
到達目標	日本の高齢者に対しての知識の習得・視覚障がい者のお手伝いの仕方の習得・車椅子の操作などの習得				
検定資格	㊦し ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	なし				
授業計画	1 ユニバーサルデザイン				
	2 日本の高齢社会について				
	3 高齢社会に適したサービス				
	4 聴覚障がいの方へのお手伝い①概要				
	5 聴覚障がいの方へのお手伝い②介助方法				
	6 視覚障がいの方へのお手伝い①概要				
	7 視覚障がいの方へのお手伝い②アイマスク体験				
	8.視覚障がいの方へのお手伝い③手引き演習（道案内）				
	9 視覚障がいの方へのお手伝い③手引き演習（食事のお手伝い）				
	10 身体障がい者補助犬について				
	11 妊娠されている方・お子様連れの方へのお手伝い				
	12 車椅子を利用されている方へのお手伝い①概要				
	13 車椅子を利用されている方へのお手伝い②車椅子自走体験				
	14 車椅子を利用されている方へのお手伝い③介助方法				
	15 その他サポートが必要な方へのお手伝い				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 90%未満、出席率 80%未満、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

専門科目

トラベル・エアポート専攻

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	海外地理Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	講師名：黒山 亮二				
	実務経験： ☒ 有 ・ ☐ 無	実務経験内容：旅行会社で企画旅行の企画・手配を担当している。			
授業概要	外の主な観光地を学習します。 テキストで講義をし、画像、動画などを見て理解を深める。				
到達目標	観光業界で働く際に必要な海外主要観光地の所在地、特色などを習得する。				
検定資格	☐ なし ・ ☐ 必修 ・ ☐ 任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布します。地図帳を使用します。				
授業計画	1	世界地図、国名、地域理解	1	アメリカ 1	
	2	ヨーロッパ 1	2	アメリカ 2	
	3	ヨーロッパ 2	3	アメリカ 3	
	4	ヨーロッパ 3	4	アメリカ 4	
	5	ヨーロッパ 4	5	アメリカ 5	
	6	ヨーロッパ 5	6	北中米	
	7	ヨーロッパ 6	7	南米 1	
	8	ヨーロッパ 7	8	南米 2	
	9	アフリカ・中東 1	9	アジア 1	
	10	アフリカ・中東 2	10	アジア 2	
	11	オセアニア 1	11	アジア 3	
	12	オセアニア 2	12	アジア 4	
	13	復習・まとめ	13	復習・まとめ	
	14	期末試験	14	期末試験	
	15	試験返却・解答	15	試験返却・解答	
成績評価 方法	学期末に評価試験、出席状況、授業への参加意欲を総合して評価。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	業法・約款 II			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：丸岡 伸久				
	実務経験 ： ☒ ・ 無	実務経験内容：旅行会社にて海外、国内旅行の企画・手配・販売（40 年程度）の経験あり。現在も旅行業務継続中。			
授業概要	旅行業法と旅行業約款を習得する。1 年時に業法は終了しており、2 年次は旅行業約款について勉強する。				
到達目標	旅行会社と参加申し込みをしたお客様との間の「契約」であり、大事なポイントに絞って習得する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称： 旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	教科書は不要。テキストを授業ごとに用意する。				
授業計画	1 旅行業約款とは？				
	2 募集型企画旅行：契約				
	3 募集型企画旅行：変更&解除				
	4 募集型企画旅行：旅程管理				
	5 募集型企画旅行：特別補償				
	6 受注型企画旅行：全般				
	7 手配旅行：全般				
	※上記を理解度に合わせて 30 時間かけておこなう				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：評価試験 85 点以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 75 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40 点以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 40 点未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	アマデウスⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	実技
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	講師名：矢野 和志				
	実務経験 ： 有	実務経験内容：旅行会社で企画旅行の企画・手配を担当している。BTM (Business Travel Management) や一般旅行業務で 15 年勤務、主に国際航空券発券業務に携わる。			
授業概要	航空・旅行業界の予約手配において、先進の IT 技術は欠かせません。アマデウスは GDS (Global Distribution System) として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどの旅行素材を手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約システム基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目標とします。				
到達目標	アマデウスシステムを使用した予約記録が作成できること。 アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格の取得。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称： アマデウスシステム検定 Specialist				
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド PDF、アマデウス予約クイックガイド 700 円				
授業計画	1 アマデウス説明、都市・空港コード（DAN）	1 前期の復習			
	2 先週の復習、都市・空港コード（DAC,DO	2 ダイレクトアクセス、フライトスケジュールエンリと演習			
	3 先週の復習、航空会社コード（DNA、DNE）	3 タイムテーブルエンリと演習			
	4 先週の復習、フライトインフォメーション（DO）	4 2-3 の復習小テスト、			
	5 1-4 回の復習小テスト、最低乗継時間(MCT)	5 前回の復習、旅客名作成と演習			
	6 先週の復習、日付と時刻の計算（DD）	6 前回の復習、電話連絡先、発券情報エンリと演習			
	7 先週の復習、ヘルプシステム（HE）	7 前回の復習、送信元、予約完了（ER）と演習			
	8 先週の復習、ヘボン式ローマ字	8 5-7 回の復習小テスト、単純往復予約作成（大人のみ）			
	9 5-8 回の復習小テスト、総復習	9 幼児、小児を含む単純往復予約演習			
	10 空席照会画面説明と演習	10 地上交通を含む予約と Special Service			
	11 前回の復習、空席照会オプションエンリと演習	11 予約作成とシートマップアサイン			
	12 前回の復習、空席照会後のショートカットエンリ、変更	12 予約作成とフリーエージェントフライヤープログラム			
	13 前回の復習、2 区間空席照会と演習	13 予約作成演習			
	14 期末試験	14 期末試験			
	15 期末試験、振り返り	15 期末試験、振り返り			
成績評価 方法	出席率、中間・期末試験、平常点の総合評価で判断します。判断内訳は、①授業理解度（中間・期末試験の点数）100*0.8+平常点 20 点（日々の平均）とする。				
成績評価 基準	A：授業理解度 80 点以上、出席率 90%以上、平常点（授業参加度+提出物）15 点以上 B：授業理解度 70 点以上、出席率 80%以上、平常点（授業参加度+提出物）10 点以上 C：授業理解度 40 点以上、出席率 50%以上、平常点（授業参加度+提出物）5 点以上 D：授業理解度 39 点以下、出席率 49%以下 平常点（授業参加度+提出物）5 点以下				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ツアープランニング			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：丸岡 伸久				
	実務経験 ： 有 ・ 無	実務経験内容：旅行会社にて海外、国内旅行の企画・手配・販売（40 年程度）の経験あり。現在も旅行業務継続中。			
授業概要	旅行の企画（ツアーの作り方）を勉強する。ツアーの計画、構成要素、コスト算出などの技術を勉強し、各自で販売したい、国内の「募集型企画旅行」を作る。企画旅行の提出が必要。優秀者には、企画したツアーの発表を行ってもらう。				
到達目標	日本国内の募集型企画旅行 3 泊 4 日のツアーを作る。売れるポイントをきちんと説明できる事が大事。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	教科書は不要。テキストを授業ごとに用意する。				
授業計画	1 ツアーの企画手順と構成要素の説明①				
	2 ツアーの企画手順と構成要素の説明②				
	3 企画旅行作成課題の説明				
	4 企画旅行作成開始（6 週）				
	5 企画旅行の発表（3 名）				
	6 企画旅行の発表（3 名）				
	7 企画旅行の発表（3 名）				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：提出課題評価 優、 出席率 90%以上、平常点 優 B：提出課題評価 良、 出席率 80%以上、平常点 良 C：提出課題評価 可、 出席率 50%以上、平常点 可 D：提出課題評価 未提出、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	添乗業務実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	講師名：石松				
	実務経験 ： ☐ 有 ・ 無	実務経験内容：添乗業務従事（日本国内・海外）			
授業概要	日本国内および 主に ヨーロッパへの旅行の 添乗実務 を、それぞれ 学ぶ。講師が許可したとき以外の、授業内容の撮影、録音、録画、SNS 投稿は禁止する。授業内容および順番は、変更される場合がある。				
到達目標	団体旅行を案内する業務の基本を習得する。旅行を扱う際の教養を身に付ける。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	1 添乗業務とガイドینگ業務の違い	1 ヨーロッパの宿泊施設			
	2 観光バス / 団体の誘導	2 ヨーロッパのガイドینگ規定			
	3 観光の方法	3 世界の鉄道 / クルーズ旅行			
	4 インバウンド旅行者に人気の観光地	4 EU、付加価値税払い戻し			
	5 食事 / 買い物・日本の Tax Refund	5 出入国、シェンゲン協定			
	6 日本の宿泊施設	6 ヨーロッパ旅行の Itinerary：行程 Day1－Day2			
	7 鉄道・航空機の利用	7 Itinerary：行程 Day3－Day4			
	8 個人情報の取り扱い / 精算方法	8 Itinerary：行程 Day5－Day7			
	9 トラブル対応	9 Itinerary：行程 Day8－Day10			
	10 国内旅行のシミュレーション 1	10 添乗員の教養：世界の特産品			
	11 国内旅行のシミュレーション 2	11 添乗員の教養：世界の料理			
	12 接遇マナー / 添乗員のマナー	12 添乗員の教養：宗教画の基礎			
	13 前期のまとめ	13 後期のまとめ			
	14 前期期末試験 / 団体の誘導 1	14 後期期末試験 / 世界の絶景 1			
	15 期末試験返却および解説 / 団体の誘導 2	15 期末試験返却および解説 / 世界の絶景 2			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。課題の作成状況、授業ルールの遵守、期末試験のルールの順守は平常点に含む				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	空港旅客サービス			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	講師名：古宮 綾佳				
	実務経験： 有 ・ 無	実務経験内容：空港の旅行会社カウンターでの業務経験あり			
授業概要	1 年次のエアポートビジネスⅠ・Ⅱを基礎として、空港カウンターでの接客を目的とした接客演習を行う。また、様々なお客様や様々なトラブルを想定しお客様対応について学ぶ。				
到達目標	航空業界の基礎的な知識を身に着け、より実践的な空港での接客技術の習得を目指す。				
検定資格	四 し ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	講師作成プリント配布				
授業計画	11 年次の復習				
	2 E チケット、搭乗券、パスポートの見方				
	3 受託手荷物について				
	4 機内持ち込み手荷物について				
	5 アライアンスとマイレージサービス				
	6 機内食について				
	7 C S とは				
	8 空港でのトラブル①				
	9 空港でのトラブル②				
	10 クレーム対応①				
	11 クレーム対応②ロールプレイ				
	12 電話応対①				
	13 電話応対②ロールプレイ				
	14 期末試験				
	15 期末試験答案返却・解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	F & B オペレーション			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	講師名：服部 寛				
	実務経験 ： ☒ ・ 無	実務経験内容：ホテル実務経験あり			
授業概要	日本で働く上で求められる飲料サービスにおいて、細かいサービス技術を実技で習得し、心からのサービスやおもてなし方、基本用語を学ぶ。				
到達目標	実際の現場で対応できる程度のサービス技術を身に付ける。				
検定資格	☒ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	教科書: 西洋料理 料飲接客サービス技法（職業訓練教材研究会） 実務演習: 必要に応じてプリントを配布				
授業計画	1 授業概要説明	1 時間	1 什器・備品名称	2 時間	
	2 接客用語演習（初級）	2 時間	2 什器・備品名称（小テスト）	1 時間	
	3 お辞儀の種類と使い方	1 時間	3 接客用語演習（中級）	2 時間	
	4 正しい姿勢と歩き方	1 時間	4 間違った接客用語	1 時間	
	5 お辞儀・姿勢・歩き方複合使用	1 時間	5 サーバーサービス（持ち方）	1 時間	
	6 トレーサービス（トレイの持ち方）	1 時間	6 サーバーサービス（パン）	1 時間	
	7 トレーサービス（バランス）	1 時間	7 サーバーサービス（料理）	1 時間	
	8 トレーサービス（歩行）	1 時間	8 一連サービス演習	4 時間	
	9 トレーサービス（ボトルサービス）	2 時間	9		
	10 プレートサービス（お皿の持ち方）	1 時間	10		
	11 プレートサービス（サービス）	2 時間	11		
	12 プレートサービス（サービス）	1 時間	12		
	13 テーブルセッティング	2 時間	13		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：出席率 80%以上、平常点 優 B：出席率 70%以上、平常点 良 C：出席率 50%以上、平常点 可 D：出席率 50%未満、平常点 不可				

専門科目
ホテル専攻

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	飲料講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	講師名：坪井珠美				
	実務経験：有・無	実務経験内容：バー経営			
授業概要	前期：飲料知識の基礎の学習とバーテンダーの役割、カクテルを作る為の基礎技術の習得 後期：カクテル基礎技術の様々な応用とワインの基礎知識				
到達目標	前期・後期を通して料飲施設に必要な知識の習得、及び専門職の役割を理解する				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	ホテルテキスト料飲Ⅱバー・ラウンジ編／講師作成プリント				
授業計画	1 飲料解説Ⅰ レストラン・バーラウンジ・宴会に必要な飲料基礎知識（第1章）①		1 カクテル基礎知識（第3章） カクテルの種類①		
	2 飲料解説Ⅰ レストラン・バーラウンジ・宴会に必要な飲料基礎知識（第1章）②		2 カクテル基礎知識（第3章） カクテルの種類②		
	3 飲料解説Ⅰ 酒類の定義と分類(スピリッツ・醸造酒・混成酒)（第2章）①		3 カクテル基礎知識（第3章） デコレーションの材料・種類①		
	4 飲料解説Ⅰ 酒類の定義と分類(スピリッツ・醸造酒・混成酒)（第2章）②		4 カクテル基礎知識（第3章） デコレーションの材料・種類②		
	5 バーテンダー解説 カクテルの基礎知識（第3章）カクテル概論		5 カクテル基礎知識（第3章） オリジナルカクテルの制作①		
	6 バーテンダー解説 カクテルの基礎知識（第3章）バーツールの説明・扱い方		6 カクテル基礎知識（第3章） オリジナルカクテルの制作②		
	7 バーテンダー解説 カクテルの基礎知識（第3章）基本技術：ステア・ビルドの習得①		7 ワインの基礎知識（第4章） ワイン概論・歴史		
	8 バーテンダー解説 カクテルの基礎知識（第3章）基本技術：ステア・ビルドの習得②		8 ワインの基礎知識（第4章） 醸造法によるワインの分類		
	9 バーテンダー解説 カクテルの基礎知識（第3章）基本技術：シェークの習得①		9 ワインの基礎知識（第4章） ワイン用ブドウ品種と栽培について		
	10 バーテンダー解説 カクテルの基礎知識（第3章）基本技術：シェークの習得②		10 ソムリエ（第5章） ソムリエの職務		
	11 バーテンダー解説 カクテルの基礎知識（第3章）基本技術を用いてカクテル作成①		11 ソムリエ（第5章） 食事とワインの合わせ方		
	12 バーテンダー解説 カクテルの基礎知識（第3章）基本技術を用いてカクテル作成②		12 ソムリエ（第5章） ワインサービス(開栓手順)等		
	13 前期定期試験についての要項と対策		13 後期定期試験について要項と対策		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	業界人育成講座Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：鈴木一史				
	実務経験 ： 有 ・ 無	実務経験内容：			
授業概要	社会人として必要スキルや知識（異文化適応力や、食事マナーや国際プロトコール）を学ぶ				
到達目標	社会人として、また業界人としての立ち振舞い方や接客用語を学ぶ。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	オリジナル資料等使用				
授業計画	1 話し方と聴き方				
	2 接遇の言葉遣い				
	3 接客英語・国際プロトコール				
	4 会話の方法				
	5 社会人としての心がまえ				
	6 社会人としての心がまえ				
	7 異文化適応力				
	8 クレーム対応				
	9 日本の贈り物のマナー				
	10 冠婚葬祭				
	11 企業人に必要な要素				
	12 ストレス対処				
	13 食事のマナー				
	14 確認テスト				
	15 フィードバック				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	料理解説Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：寺田宗高				
	実務経験： 有 ・ 無	実務経験内容：ホテル勤務			
授業概要	ホテルテキスト料飲Ⅰ（レストラン・宴会編）を使用して、中国料理・日本料理の理解度を深める。 フランス料理～日本料理の料理名を英語にて表現する。				
到達目標	中国料理の料理と専門用語を理解する。 日本料理の仕組みと会席料理を理解する。 フランス料理・中国料理・日本料理を英語で表現できるようにする。				
検定資格	(㊦)し ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
授業計画	1 中国料理の種類と仕組み				
	2 中国料理を材料別に解説				
	3 中国料理を材料別に解説				
	4 中国料理を材料別に解説				
	5 日本料理を会席料理に沿って解説				
	6 日本料理を会席料理に沿って解説				
	7 日本料理を会席料理に沿って解説				
	8 中国料理の料理名に使用される漢字の意味の英語変換を解説				
	9 中国料理の料理名に使用される漢字の意味の英語変換を解説				
	10 中国料理の料理名に使用される漢字の意味の英語変換を解説				
	11 中国料理の料理名に使用される漢字の意味の英語変換を解説				
	12 中国料理の料理名に使用される漢字の意味の英語変換を解説				
	13 日本料理の料理名に使用される言葉の英語変換を解説				
	14 日本料理の料理名に使用される言葉の英語変換を解説				
	15 日本料理の料理名に使用される言葉の英語変換を解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	F & B オペレーションⅢ			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：服部 寛				
	実務経験 ： ☒ ・ 無	実務経験内容：ホテル実務経験あり			
授業概要	1 年次に行った、トレイ・プレートサービスの復習と HRS 実技試験レベルの実践的な練習を行う。 レストラン・バンケットでのサービス技術向上及び、基本動作を身に付け、就職後の仕事に活かせる技術を身に付ける。				
到達目標	HRS 実技試験の内容に準じた実践的な練習を行う。又、実際の現場で対応できる程度のサービス技術を身に付ける。				
検定資格	☒ ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	教科書: 西洋料理 料飲接客サービス技法（職業訓練教材研究会） 実務演習: 必要に応じてプリントを配布				
授業計画	1 授業概要説明	1 時間	1 料理下げ～販売促進	1 時間	
	2 接客用語復習	1 時間	2 お見送り～リセット	1 時間	
	3 お辞儀の種類と使い方の復習	1 時間	3 迎賓～リセット通し演習	14 時間	
	4 什器・備品名称復習	1 時間	※通し演習は全員必須		
	5 1 年次サービス復習	2 時間			
	6 客席案内	1 時間			
	7 メニュー提示～販売促進	1 時間			
	8 水のサービス	1 時間			
	9 オーダーテイク	1 時間	9		
	10 テーブルセッティング	1 時間	10		
	11 ワインサーブ	1 時間	11		
	12 パンサーブ	1 時間	12		
	13 料理サーブ	1 時間	13		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：出席率 80%以上、平常点 優 （平常点良は B 評価とする） B：出席率 70%以上、平常点 良 C：出席率 50%以上、平常点 可 D：出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ホテル・サービス実務Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義・演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	講師名：服部 寛				
	実務経験 ： ☒ ・ 無	実務経験内容：ホテル実務経験あり			
授業概要	日本のホテルや旅館サービスについてロールプレイで学ぶ。 1 年生次に習ったホテルの宿泊部門のロールプレイング。 学生同士でディスカッションをし、意欲向上に繋げる。 フロント・ベルマン・ベッドメイキングの実務演習も行う。				
到達目標	サービスの定義やホテルサービスの課題、環境変化に伴う今後のホテル、旅館サービスの方向性について考察し、ロールプレイングによる体験を通じて学ぶ。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	教科書: ホテル フロント,サービス編 実務演習: 必要に応じてプリントを配布				
授業計画	1	1 年生次内容復習	3 時間	1	
	2	ホテル宿泊接客実務演習	15 時間	2	
	3	旅館接客実務演習	5 時間	3	
	4	宿泊用語演習	5 時間	4	
	5	期末試験とフィードバック	2 時間	5	
	6			6	
	7			7	
	8			8	
	9			9	
	10			10	
	11			11	
	12			12	
	13			13	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	観光ビジネス理解			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	講師名：丸岡 伸久				
	実務経験 ： ☒ ・ 無	実務経験内容：旅行会社にて海外、国内旅行の企画・手配・販売（40 年程度）の経験あり。現在も旅行業務継続中。			
授業概要	日本の観光業界のニュースを取り上げて、業界の状況や問題を研究する。それにより、日本の業界の理解を深める。また、ニュースで使われる日本語の勉強も行う。				
到達目標	観光業界および関連業界で仕事をする際に役に立つ知識を増やす。同時に、日本語の知識も増やす。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	教科書は不要。テキストを授業ごとに用意する。				
授業計画	1 温泉入浴とタトゥー&温泉猿				
	2 日本人の宗教観 神社とお寺				
	3 日本人と紅葉&人気スポット・ランキング				
	4 サービスの難しさ				
	5 関東のおすすめイルミネーション・スポット				
	6 富士山の魅力				
	7 人気温泉ランキング				
	8 観光列車の旅				
	9 京都 3 大祭り				
	10 桜の名所 お花見ランキング				
	※各項目 x 3 時間として進める				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：評価試験 85 点以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 75 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40 点以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 40 点未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	バンケットサービス実務			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義・演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	講師名：服部 寛				
	実務経験 ： ☒ ・ 無	実務経験内容：ホテル実務経験あり			
授業概要	宴会業務に関して披露宴だけでなく、バンケット全体を料飲経験者目線から学び特徴や違いなどを考える。 1 年生向けの就職イベントでは、勉強した内容の集大成として宴会の設営から運営に携わる。				
到達目標	バンケット業務に必要な知識を習得。 また、授業の集大成として宴会の設営と運営を実際に行い体で覚える。				
検定資格	☒ ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	教科書: ホテルテキスト料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
授業計画	1 レストランとの違い（料理・飲料）	4 時間	1		
	2 レストランとの違い（サービス）	4 時間	2		
	3 用途別会場の作成方法（シアター）	2 時間	3		
	4 用途別会場の作成方法（ビュッフェ）	2 時間	4		
	4 宴会に関わる仕事と内容・役割	2 時間	5		
	5 ホテルの結婚式	3 時間	6		
	7 就職交流プラザ説明	1 時間	7		
	8 交流プラザ設営解説	1 時間	8		
	9 交流会運営解説	1 時間	9		
	10 交流プラザ運営解説（役割ごと）	3 時間	10		
	11 交流会運営解説（役割ごと）	3 時間	11		
	12 交流プラザ本番	4 時間	12		
	13		13		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：出席率 80%以上、平常点 優 B：出席率 70%以上、平常点 良 C：出席率 50%以上、平常点 可 D：出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	観光歴史			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講習
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	講師名：矢野 和志				
	実務経験 ： 有	実務経験内容：旅行会社で企画旅行の企画・手配を担当している。BTM (Business Travel Management) や一般旅行業務で 15 年勤務、主に国際航空券発券業務に携わる。			
授業概要	日本の歴史を学びながら、その時々の遺跡建築物、観光地などの知識を身に付ける。				
到達目標	将来観光業界で働いた際に、お客様などの質問に最低限答えられる知識を身に付ける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	Google classroom を利用し、適宜 PDF 配布				
授業計画	1 成績評価説明、Google classroom 登録、日本の年表				
	2 旧石器時代と縄文時代、弥生時代				
	3 古墳時代、古墳→飛鳥時代				
	4 大化の改新_壬申の乱				
	5 鑑真和尚（唐招提寺）、行基と仏教文化				
	6 奈良時代から平安時代、摂関政治(平安時代)				
	7 藤原氏の全盛(平安時代)、貴族政治から武士政治へ				
	8 貴族政治から武士政治へ、⑬源氏と平氏のたたかい				
	9 鎌倉幕府の成立、元の来襲と鎌倉幕府滅亡				
	10 南北朝時代から室町幕府成立、戦国時代の幕開け				
	11 室町時代の滅亡と織田信長、織田信長の城と本能寺の変				
	12 ⑩豊臣秀吉と大阪城、豊臣時代、豊臣家滅亡と江戸時代の始まり				
	13 ⑫豊臣家滅亡と江戸時代の始まりと幕末				
	14 期末試験				
	15 期末試験、振り返り				
成績評価 方法	出席率、宿題、期末試験、平常点の総合評価で判断します。判断内訳は、①授業理解度（宿題・期末試験の点数）100*0.8+平常点 20 点（日々の平均）=100 とし判断。				
成績評価 基準	A：授業理解度 80 点以上、出席率 90%以上、平常点（授業参加度+提出物）15 点以上 B：授業理解度 70 点以上、出席率 80%以上、平常点（授業参加度+提出物）10 点以上 C：授業理解度 40 点以上、出席率 50%以上、平常点（授業参加度+提出物）5 点以上 D：授業理解度 39 点以下、出席率 49%以下 平常点（授業参加度+提出物）5 点以下				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国際旅行実務			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	2 年 後期	単位数	後期 ：2 単位	時間数	後期 ：30 時間
担当	講師名：黒山 亮二				
	実務経験 ： ☐ 有 ・ 無	実務経験内容：旅行会社で企画旅行の企画・手配を担当している。			
授業概要	海外旅行の様々な商品とその手配方法を学習します。				
到達目標	海外旅行を取り扱うための必要な基礎知識の習得。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布します。				
授業計画	1 旅行業、流通、カタカナ				
	2 各種旅行素材 1				
	3 各種旅行素材 2				
	4 各種旅行素材 3				
	5 エアライン				
	6 空港				
	7 航空券・運賃 1				
	8 航空券・運賃 2				
	9 航空予約 1				
	10 航空予約 2				
	11 運賃計算 1				
	12 運賃計算 2				
	13 復習・まとめ				
	14 期末試験				
	15 試験返却・解答				
成績評価 方法	学期末に評価試験、出席状況、授業への参加意欲を総合して評価。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				